



**おたま様**  
鹿室交差点角。明和年間(1764-72)造立の猿田彦像。子供の歌の病にこのおたまを借りて味噌汁を飲ませ、治ったお礼にもうひとつおたまを添えて返したという言い伝えが残る。



**浄安寺**  
本尊は阿弥陀如来像を安置する。山門は付近にあった岩槻城田中口の本戸門を移築したもの。將軍社参の際に鍵がつかえるため「門を壊せ」と命じられた岩槻城主が「鍵を倒してお通りを」と答えたので「鍵返し」と呼ばれる。円空仏をはじめ多くの歴史的遺産を所蔵。



**岩槻城址公園**  
長禄元年(1457)、太田道灌の父・資清が築城した岩槻城は、川越城、忍城とともに案内三名城のひとつとされる。城跡を生かして整備された公園は、桜の名所としても知られる。



**大門宿本陣**  
本陣とともに茅葺き長屋門を残す。元禄7年(1694)に建設された。門には番所が設けられている。往時を偲ぶたずまいを今に残す。



**見沼通船掘**  
享保16年(1731)に完成した日本最古級の開門式運河。見沼代用水の通船は荒川から市内の芝川を瀬り、江戸と川口、そして上流の各地を結ぶ一大流通路だった。



川口市内の全図は、表面地図をご参照ください



**川口の渡し**  
現在の新荒川大橋の下流に設けられていた。歌川広重「江戸百景めぐり」に登場する川口の渡し(善光寺)にも描かれた。明治39年(1906)に舟橋となり、昭和3年(1928)に橋が架けられるまで利用された。



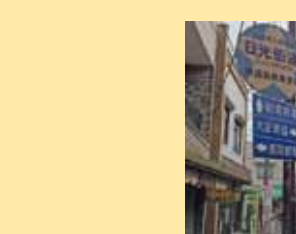
**目赤不動南谷寺**  
もとは動坂にあった伊賀の赤目由来する赤目不動が3代家光の命により目赤不動として当地に移転。江戸を守護する五色不動のひとつとする説は有名。



**川口宿と岩淵宿は荒川をはさま、合宿として月の前半後半で宿場の役目を交代していました。**



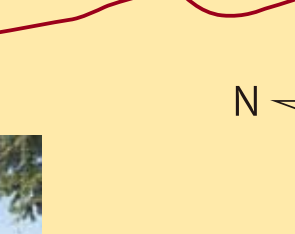
**江戸城大手門**  
江戸城の正門。將軍家社参の際には必ず大手門から出立。



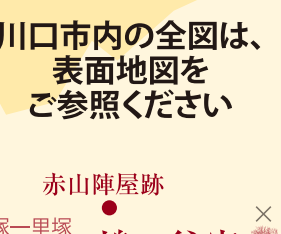
**幸手宿**  
幸手宿分まで日光道中(街道)と合流。幸手宿の先、宇都宮を経て、奥羽街道につながる。



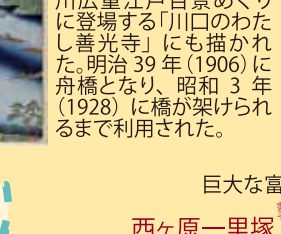
**岩槻宿**  
御成道は挟んで左右2つとも残っている。下野野一里塚



**大門宿**  
本郷追分から8番目の膝子一里塚



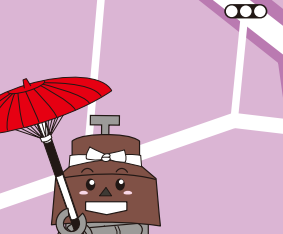
**川口宿**  
川口の渡し



**岩淵宿**  
岩淵宿



**王子宿**  
王子宿



**一里**  
約4km



**本郷追分**  
本郷追分



**日光道中(街道)**  
日光道中(街道)



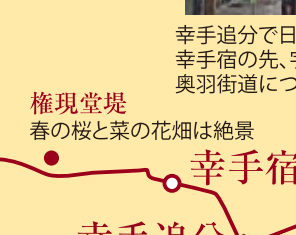
**千住宿**  
千住宿



**日光御成道**  
日光御成道



**新井宿**  
新井宿



**幸手宿**  
幸手宿



**岩槻宿**  
岩槻宿



**大門宿**  
大門宿



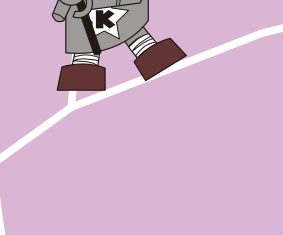
**川口宿**  
川口宿



**岩淵宿**  
岩淵宿



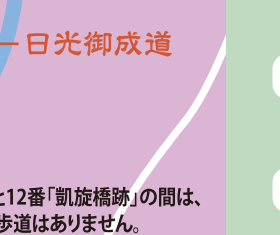
**王子宿**  
王子宿



**一里**  
約4km



**本郷追分**  
本郷追分



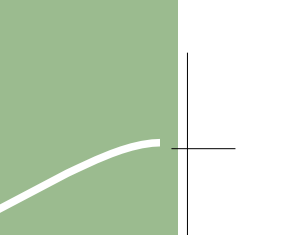
**日光道中(街道)**  
日光道中(街道)



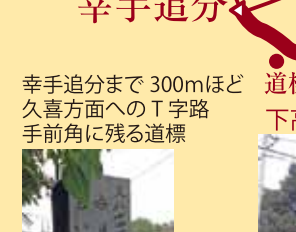
**千住宿**  
千住宿



**日光御成道**  
日光御成道



**新井宿**  
新井宿



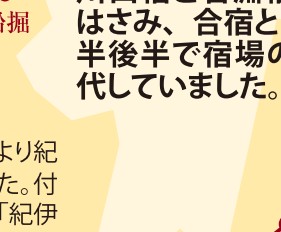
**幸手宿**  
幸手宿



**岩槻宿**  
岩槻宿



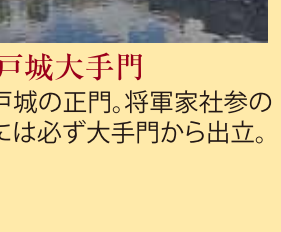
**大門宿**  
大門宿



**川口宿**  
川口宿



**岩淵宿**  
岩淵宿



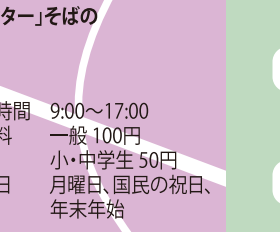
**王子宿**  
王子宿



**一里**  
約4km



**本郷追分**  
本郷追分



**日光道中(街道)**  
日光道中(街道)



**千住宿**  
千住宿



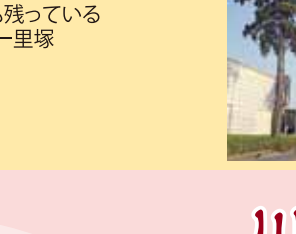
**日光御成道**  
日光御成道



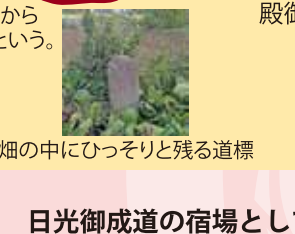
**新井宿**  
新井宿



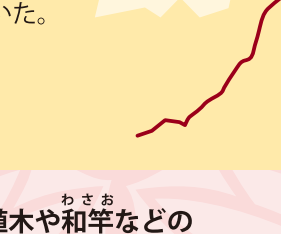
**幸手宿**  
幸手宿



**岩槻宿**  
岩槻宿



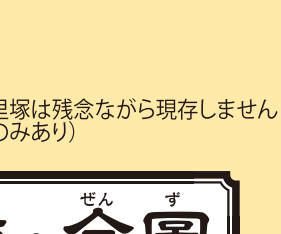
**大門宿**  
大門宿



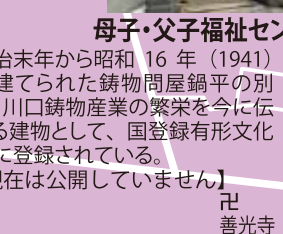
**川口宿**  
川口宿



**岩淵宿**  
岩淵宿



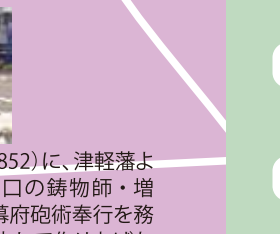
**王子宿**  
王子宿



**一里**  
約4km



**本郷追分**  
本郷追分



**日光道中(街道)**  
日光道中(街道)



**千住宿**  
千住宿



**日光御成道**  
日光御成道



**新井宿**  
新井宿

**歳時記**

- 江戸袋の獅子舞 4月上旬の日曜日・10月第2土・日曜日【江戸袋氷川神社(新郷)】
- 安行原の蛇造り 5月24日【安行原周辺(安行)】
- 安行藤八の獅子舞 6月25日付近の日曜日【安行藤八周辺(安行)】
- 領家の囃子と神楽 9月下旬の土・日曜日【領家稲荷神社(南平)】
- おかめ市 12月15日【川口神社】
- おかめ市 12月19日【飯塚氷川神社】
- おかめ市 12月23日【鳩ヶ谷氷川神社】

**川口宿**

日光御成道の宿場として共に栄え、また安行植木や和傘などの伝統産業の配送ルートとしても重要な役割を担っていた2つの宿

江戸時代、川口は岩淵とともに「荒川の渡し」を担う宿場町として賑わい、宿場間の荷物配送や郵便などの駅運業務を行う問屋場も設けられました。江戸時代後期の名所旧跡ガイド「遊歴雑記」には、宿場西側の裏町筋に「釜屋」と呼ばれる数十軒の鋳物屋があったと書かれており、川口が産業の町としても栄えていたことがうかがえます。

**鳩ヶ谷宿**

鳩ヶ谷は宿場の本陣がある中町を中心に、穀物商をはじめ肥料や藍染めの材料として使われる薬灰商、雑貨・乾物商といった店が連なっており、商業の町として知られていました。江戸時代の中頃に始まったといわれる「三八市」には、周辺からも多くの人が集まったと伝えられています。その後も鳩ヶ谷は、周辺地域の物資集散地として発展し、商業地として名を馳せました。

**日光御成道・全圖**

日光御成道(122号国道)は、本郷追分(東京都東武東上線)から、幸手宿(埼玉県幸手市)の手前で日光道中(街道)に合流するまでの12里30町(約48km)の街道です。

もともとは鎌倉時代の奥州へ通じる幹線道路「鎌倉街道中道(かまくらみちのちゅうみち)」でした。

時代は移り変え5年(1600)、この道を北上して上杉征伐へ向かった徳川家康は、小山宿(埼玉県小山市)で石田三成軍兵と知り、直ちに引き返して関ヶ原の合戦で勝利。やがて征夷大将軍に任ぜられた徳川幕府を開くのです。

家康は、その建意により日光東照宮に祀られました。以来、歴代将軍の日光社参が幕府の大切行事と合致します。

そのための特別街道が「日光御成道」なのです。

天下取りの戦に勝利する始末の道、縁起の良い道である「日光御成道」。川口宿、鳩ヶ谷宿の名残を「日光御成道」で訪ねてみましょう。

**歩く場合の注意事項**

- 交通ルールを守り、安全に街歩きを楽しみましょう。
- 車の通行量の多い道を歩きます。歩道が道の端を歩くようにしましょう。
- 水筒を持参するなどして、水分補給はこまめに行いましょう。
- ウォーキング中、身体に異常を感じた場合は、無理せず休みましょう。

**川口宿拡大図・モデルルート**  
全長約3.2km / 移動所要時間約45分

- 川口駅東口 500m・6分
- 成田山不動院 300m・4分
- 金山神社・川口神社 350m・4分
- 母子・父子福祉センター 150m・2分
- 歩道橋 220m・3分
- 鎌倉橋石碑 210m・3分
- 18ポンドカノン砲 140m・2分
- 旧川口宿本陣表門 160m・3分
- レンガ塀 180m・3分
- 川口宿ミニパーク 120m・2分
- 文化財センター 250m・4分
- 凱旋橋跡 50m・1分
- 錫杖寺 600m・8分
- 川口元郷駅・芝川公園 600m・8分

**鳩ヶ谷宿 拡大図・モデルルート**  
全長約3.0km 移動所要時間約40分

- 新井宿駅 850m・10分
- 地蔵院 180m・2分
- 地蔵院前の道標 300m・4分
- 湧水公園 130m・2分
- 法性寺 350m・5分
- 市神社 140m・2分
- 郷土資料館 220m・3分
- 鳩ヶ谷氷川神社 270m・4分
- 御成坂公園とからくり時計 50m・1分
- 吹上橋と一里塚跡 130m・2分
- 昭和橋 350m・5分
- 鳩ヶ谷駅東口